

第2刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
72頁 図Ⅱ-1-4	棒グラフ「細胞内液」有機リン酸塩	リン酸塩
82頁 図Ⅱ-1-15	引き出し文字「咽頭隆起(甲状軟骨)」	「喉頭隆起(甲状軟骨)」
116頁 上から13行目	…鼻腔にはじまり咽喉頭, 気管…	…鼻腔にはじまり咽頭, 喉頭, 気管…
120頁 下から8行目	…胸膜を肺胸膜, …と呼ぶ。肺胸膜と壁	…胸膜を臓側胸膜, …と呼ぶ。臓側胸膜と壁
122頁 下から8行目	…その径は約…	…その厚さは約…
124頁 上から10行目	…は平衡して一定の関係があり, …	…には一定の関係があり, …
170頁 図Ⅱ-1-110	中葉	中葉とそれをさす矢印削除
171頁 上から6行目	…授乳期の乳汁分泌も促進する。	…授乳期の乳汁の射出を促進する作用もある。
180頁 図Ⅱ-1-115	図なかほどのトロンビンからフィブリノゲンへの→	トロンビンからの矢印はフィブリノゲンとフィブリンへの→へ
198頁 上から15行目	蛋白質を構成するアミノ酸のうち20種類は…	蛋白質を構成する20種類のアミノ酸のうち9種類は…
200頁 下から2行目	$760\text{mmHg} \times 0.21\% = 160\text{ mmHg}$	$760\text{ mmHg} \times 21\% = 160\text{ mmHg}$
201頁 1行目	山頂上では470mmHgで海拔0mの約2/3, 世界の最高峰約8,850mのエベレスト山頂では235mmHgで海拔0mの約1/3となる。…	山頂では海拔0mの約2/3, 標高8,848mのエベレストの頂上では海拔0mの約1/3になる。…
203頁 上から18行目	…酸素と結合したときを100%となる酸素と結合して	…酸素と結合したときを100%として, 酸素と結合して
403頁 表Ⅲ-2-4		肝不全によるはさみ足歩行は間違いではないが, まれであることから, 表Ⅲ-2-4から「肝不全」を削除
下巻		
591頁 表Ⅲ-3-1	慢性閉塞性肺疾患の項 副呼吸筋の発達	呼吸補助筋の発達
591頁 表Ⅲ-3-1	肺結核後遺症の項 上室不整脈を…	上室性不整脈を…
593頁 下から13行目	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長, 体重から…	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長から… (体重を削除)
594頁 表Ⅲ-3-2	呼吸の項 全肺野呼吸音の減弱*	全肺野呼吸音の減弱 (*を削除)
799頁 最後の行	…低血糖時にブドウ糖を頸静脈投与…	…低血糖時にブドウ糖を経静脈投与…
800頁 表Ⅲ-5-24	「不足↓」の2行目 下垂体機能低下症	続発性副腎皮質機能低下症
822頁 上から16行目	…輸液の適用になる。	…輸液の適応になる。

822頁 下から14行目	I型アレルギーによる。・・・	削除
876頁 上から14行目	母親の口中内にある本ウイルス・・・	母親の口腔内にある本ウイルス・・・
899頁 下から19行目	・・・肝機能異常 (elevated live renzymes),・・・	・・・肝機能異常 (elevated liver enzymes),・・・
981頁 下から19行目	第3頸髄より上位の頸髄損傷では・・・	第3頸髄節より上位の頸髄損傷では・・・
987頁 上から2行目	・・・気胸, すなわち胸腔内に空気が・・・	・・・気胸, すなわち胸膜腔に空気が・・・
987頁 下から12行目	・・・胸壁の創部に胸腔内へ向かう・・・	・・・胸壁の創部に胸膜腔へ向かう・・・
987頁 下から11行目	・・・呼気時に胸腔内に流入した空気・・・	・・・呼気時に胸膜腔に流入した空気・・・
987頁 下から10行目	・・・しだいに胸腔内に蓄積する。・・・	・・・しだいに胸膜腔に蓄積する。・・・
988頁 下から6行目	・・・吸気時に膨隆する奇異呼吸を示す。・・・	・・・吸気時に陥没する奇異呼吸を示す。・・・
1016頁 下から20行目	・・・上腕骨の遠位端が後方に転移する。・・・	・・・上腕骨の遠位端が後方に転位する。・・・